

## 自社栽培による白神産カワラヨモギが世界へ 化粧品原料に加工され仏コーディフ社より販売開始

>>>2018. 11. 19

株式会社アルビオン(東京・中央区、小林 章一代表取締役社長)は、秋田県藤里町のアルビオン白神研究所で栽培したカワラヨモギの原草を、連携協定を締結しているフランスの化粧品原料メーカー、コーディフインターナショナルSAS(フランス・サンマロ、アントワーヌ ジェドワン社長、以下コーディフ社)へ提供。同社が独自の技術でカワラヨモギをエキス化し、化粧品原料として世界に向けて発売を開始いたしましたのでご案内申し上げます。

化粧品先進国であるフランスにおいて、長年、新しい植物原料の開発に力を注いできたコーディフ社では、アルビオンが秋田県藤里町の白神研究所で栽培したカワラヨモギから、独自の抽出技術であるリキシビエーションを使って、美肌効果に優れ、高いエイジングケア※1効果が期待できる成分の抽出・エキス化に成功。同社オリジナル化粧品原料「RAYKAMI※2」として、2018年10月末にタイのバンコク市内で行なわれたアジア太平洋地域最大の化粧品原料展「イン コスメティックス アジア」にて発表、世界に向けて(日本を除く)発売を開始しました。

展示会では、有機栽培にこだわりトレーサビリティが確保された良質な白神産カワラヨモギと、そのヨモギから抽出された当原料が、オーガニック先進国のヨーロッパをはじめ様々な地域の方々から高い評価を受け、コーディフ社を通じてすでに複数の化粧品メーカーと原料提供の交渉が進んでおります。

今後アルビオンが育てた白神産カワラヨモギを使った化粧品原料が配合された商品が、世界で発売されることが期待できます。(日本国内ではアルビオンの独占使用原料となります。)

これまで、アルビオンではヨモギを中心に植物の部位や収穫時期、熟成期間など、様々な側面から化粧品原料としての新しい可能性を探りつつ、その栽培・研究に力を入れて参りました。今後も新たな効果と付加価値を生み出すために、ヨモギをはじめとした植物の新しい可能性を探究し、海外企業とのコラボレーションなどを含めた取り組みを積極的に行なっていく予定です。

なお、アルビオンでは同原料を日本国内で独占的に配合した商品を「イグニス」ブランドから11月18日に2品発売いたします。

**イグニス プレミアム ネイチャーミルク<乳液> 200g 7,000円(税抜)**

**イグニス プレミアム ネイチャーウォーター<化粧水> 200ml 7,000円(税抜)**

※1 年齢に応じた肌のお手入れのこと ※2 光線を意味する「RAY」と白神山地の「神 KAMI」の造語



コーディフ社の出展ブースにて、コーディフ社の担当者とアルビオン染谷高士常務取締役(右)



## ■資料

### コディフ社とは

フランスの西海岸、世界遺産のモンサンミッシェルに程近い美しい海に囲まれた自然豊かな土地で、海藻などの海洋由来の原料に強みを持ち、生物の多様性を尊重しながら研究開発を行なっている化粧品原料メーカー。天然成分を理想的な形で濃縮抽出するオリジナルの抽出技術「リキシビエーション」を保持し、フランスで特許を取得しています。

### リキシビエーションとは

コディフ社が持つ独自の抽出技術。低温、短時間で素材へのダメージを最小限にして抽出することで、これまで取りきれなかったり壊れてしまっていた成分の抽出が可能。

### アルビオンとコディフ社との取り組みについて

2012年にコディフ社から原料紹介を受けたことをきっかけに取引を開始。

2014年にアルゲジェネティック(ワカメエキス)と2015年にパンクラチウムエキス(パンクラチウムマリチムムエキス)の提供を受け、アルビオンブランド「エクシアAL」シリーズの美容成分として配合。

2014年より本格的にアルビオンとの共同研究がスタート。

2018年6月、今後も相互に連携して、有用性植物の探索・評価及び化粧品産業における応用・実用化に関する研究、並びに人材育成を推進することを目的に連携協定を締結。